

【保土ヶ谷区】令和2年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

| | |
|-----------|--|
| 開催日時 | 令和2年2月5日 午後4時 ～ 午後5時15分 |
| 場 所 | 保土ヶ谷区役所本館2階 202会議室 |
| 出席者 | <p>【座 長】北谷 まり 議員</p> <p>【議 員： 4名】齊藤 伸一 議員 青木 亮祐 議員 森 ひろたか 議員 磯部 圭太 議員</p> <p>【保土ヶ谷区：32名】菅井 忠彦 区長 安藤 浩幸 副区長 伊澤 明 福祉保健センター長 小林 悦夫 福祉保健センター担当部長 秋山 禎治 保土ヶ谷土木事務所長 宮代 徹 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p> |
| 議 題 | <p>1 令和2年度保土ヶ谷区編成予算案について</p> <p>2 令和元年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費執行状況等について</p> <p>2-1 星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業について</p> <p>2-2 保土ヶ谷ほっとなまちづくりについて</p> |
| 発 言 の 要 旨 | <p>議題1</p> <p>令和2年度保土ヶ谷区編成予算案について</p> <p>森議員： 災害対策推進事業で予算減となっている理由は何か。</p> <p>大友総務課長： 元年度に実施した防災・地域福祉アンケートが終了したことによる減。</p> <p>森議員： 防災・減災、また自助・共助の活動は災害を最小限に抑える最大の対策と考えている。広島に視察に行ったが、地域が独自に防災マップを作成し</p> |

ていた。デイサービスの方が一人暮らしの高齢者を迎えに行くとか、指定避難場所以外に、民間と連携し一時避難場所を設けるなどの取組を自治会独自で行っていた。保土ヶ谷区でも神戸町で町内会が中心となってマップを作っている例もあると聞いている。そのような地域の取組について支援をしてほしい。

森議員：

こども安心110番事業で車両も導入したと聞いているがどのくらい普及しているか。

大山地域振興課長：

防犯ステッカー事業と呼んでいる。本年度、区が主体となり警察・防犯協会の協力を得て車両用の防犯ステッカーを作成した。昨年12月に、区内37企業・団体に約500枚を配布した。主な事業所としては、保土ヶ谷郵便局、横浜建設業協会及び建設会社十数社、保土ヶ谷区社会福祉協議会及び地域ケアプラザ、庁用車など。郵便局は区役所との協定に基づき実施、他の企業については、申込を受け配布している。広報よこはま1月号にて周知したが、今後も引き続き事業者を拡大するよう努力したい。

森議員：

引き続き推進してほしい。また、地産地消事業について、保土ヶ谷区内にある農家の農作物がどのくらい区内で使われているか分かれば教えてほしい。

宮本区政推進課長：

後ほどお伝えする。

斉藤議員：

災害対策推進事業の2(1)ウの地震・風水害それぞれに応じた避難先・避難場所の周知について詳しく教えてほしい。

大友総務課長：

震災の際の避難所については各地域防災拠点で運営委員会が組織されており周知されているが、風水害の際の避難場所についてはまだ周知不足

だったことが先日の台風 15 号・19 号の際に判明したので、広報よこはま区版など様々な手段を使って風水害の際の避難場所・方法・行動をさらに周知したい。

齊藤議員：

先日の台風の際、避難所に行っても避難所が開いていないこともあったと聞いている。避難所立ち上げの確たるルールがないため、総務局としても定めたいと考えているようだが区としてはどう考えているか。

大友総務課長：

市長をトップとする危機管理推進会議内の風水害対策見直し専門部会で検討を始めているところである。保土ヶ谷区としては、従来は土砂災害時の即時避難対象世帯を主な対象として風水害時の避難所開設を想定していたが、先日の台風 19 号では広いエリアから 300 名以上の方が避難してきたことをふまえ、今後は開設する避難所の数や配置について見直しを検討する。

齊藤議員：

生活保護受給者に対する家計相談支援事業について局事業化とあるが、内容は従来と変わらないということでしょうか。

郷原生活支援課長：

これまで区で対応していた方を含め、全ての対象者が局事業の対象となる。

青木議員：

区提案反映制度で災害時の動員計画に関する要望があったがどのような内容か。

大友総務課長：

現在、1つの地域防災拠点ごとに職員 4 名体制であるが、異動などがあり拠点の状況把握や地域と関係づくりが難しい。また、区職員に区内在住の者が少ないため参集に時間がかかるという傾向もあることから、近くに住む職員を動員者とし固定化することを提案したもの。

青木議員：

区の提案の方が合理的に思うが、区局の災害時の業務に支障はないのか。

大友総務課長：

各所属で必要な人員を確保したうえで拠点に配置しており問題ないと考えている。

青木議員：

良い案であると感じるが、今まで総務局にて進められなかった理由はあるか。

大友総務課長：

災害時に、各所属の業務に支障をきたす恐れがあると考えている可能性はある。

青木議員：

機会があれば市でも質問してみたい。

斉藤議員：

こども食堂に関し、令和元年9月末時点で市内に127か所あると聞いているが、こども青少年局にて予算計上し支援すると言っている以上、もう少し細かく掌握してほしい。区で衛生指導をするというのは大きな一歩だと思うので、保土ヶ谷の取組をアピールしながら局と連携して支援してほしい。

檜崎生活衛生課長

健康福祉局と情報交換しながら対応していく。

議題 2-1

星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業について

磯部議員：

流れが変わると影響を受けた地域も変わってくる。保土ヶ谷のまちをど

| | |
|-----|---|
| | <p>うしていくのか組み立てを考え、区全体のバランスをとりながら検討を進めてほしい。</p> <p>議題 2-2 保土ヶ谷ほとなまちづくりについて 質疑等なし</p> |
| 備 考 | |